

市民山の会中止に伴う支部代替企画行事

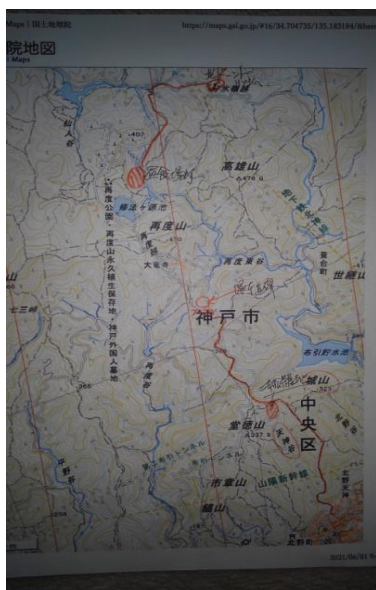
(布引支部 HNCM 臨時企画行事)

「**緑溢れる神戸背山の歴史道を歩く**」に参加

布引支部 久野 美智

緊急事態宣言の期間が連休明けで解かれるのかと思っていましたが、伸びに伸びて結局、5月末になってしまいました。5月16日の第三日曜日に行われる予定だった市民山の会も、早々と中止が決まり、折角のお休みも、山へ行くあてなくストレスが溜まるばかりでした。そんな折、30日(日)が支部企画行事として計画されていた山行も中止となっていたそうですが、布引ニューサークルメンバーだけで行くことになり、渡田さんからお誘い頂いたので参加の即答をしました。

【前半の部】



地形図/ハンター坂東尾根(天神谷東尾根)ルート

8:30 新神戸集合。男性3名、**女性7名**の参加で出発です。新幹線のガードをくぐり、真新しい市民トイレが出来たミニ公園の横から北野へ通じる山麓散策路へ入りました。いきなりの登りで息が弾みましたが、先頭を歩かれた会長がスローペースで歩いて下さったので助かりました。一旦北野の異人館街へ下り、風見鶏の館の前へ。コロナの関係で、ほとんどの異人館やお店は休業していました。

今日のコースは、タイトルに書かれているように「**神戸背山の歴史道**」を歩くそうで、明治の中頃からこの界隈に住んでいた外人さん達が、**散歩がてらに裏山に登られた道**や、**仲間で開拓した道**などの足跡を辿るという興味深いものです。そのスタートがすぐ北側にある**ハンター坂**で、その突き当りから登るということでした。



(ネット画像)

E・H・ハンター

商社マンから実業家として成功されたハンターさん(英国人・E・Hハンター)は、北野に広大な敷地を所有されておられたそうで、邸宅から時間を見つけてはこゝ**範多谷(天神谷のこと)**から再度に通じていた道を登っておられたということです。今は堰堤などでその道は寸断されており、今日は東側の尾根伝いに登って行きました。しかし、この尾根は落葉で滑りやすく、又、後ろへひっくり返りそうな急勾配で大変でした!・・・**範多谷**を上り詰めたところに**二本松茶屋**という茶店が有って、そこでも**サイン帳**が置かれていたことや、冬場の早朝は**小田原提灯**の明かりで登っていたことなどの説明を聞き、先人はすごいな〜と感心しました。・・・再度ドライブウェイにでると少しの間、車道歩きをし、尾根上にひっそりと隠れるようにして建っていた「**塚本道の碑**」へ案内して頂きました。



大正6年に建てられた「塚本道の碑」の前で



神戸徒歩会の名も刻まれている碑

塚本道という名は聞いたことはありましたが、歴史上のことなどはよくわかりませんでした。会長の案内によると「毎朝登山発祥地である再度山はすぐこの北側で、ヒヨコ会員がサインをしていた善太郎茶屋と外人さん達がサインをしていた善助茶屋は、目と鼻の先であった。塚本道を開拓された塚本永堯(つかもとながたか)さん率いる「神戸草鞋会(後に神戸徒歩会に改名)」のお休み処(シーダーカテジ)は、その茶店の中間点にあった」そうで、そこを中心に、今歩かれている大半の登山道を何年もかかって切り開いて行かれたそうです。



シーダーカテジ跡の表示板

そのメイン道路ともいべき道が塚本道であったようですが、昭和12年に開通したドライブウェイの工事により寸断消滅し、今ではその面影はありません。しかし、大龍寺の赤門の前にあるマルバヤナギの古木の前を通過していたことは確かな事実(故高橋敬三森林整備所長談)だそうです。

当初の予定はゴールとなる森林植物園で昼食!との予定でしたが、バーナーで火を使うことやハイカーの多さなどを考え、誰もいない再度東公園の広場で済ますことに変更。全員「賛成!!」で前半の予定が終了しました。・・・

ゆったりした昼食タイムにより、身体も気分も上機嫌に回復したのでした!!・・・!(^)!

【後半の部】



地形図/北ドーントリッジ (H・E ドーント) ルート

後半の部は今日一番に期待している「北ドーントリッジ」の歩行です。

再度東公園からはドライブウェイに沿った気持ちの良いハイキング道を分水嶺越めざして歩きました。間伐されたこの尾根ハイクは明るく大変気持ちの良いコースでした。



早くもコアジサイが見頃でした!



ドーントさんについての詳しいことはよくわかりませんが、明治30年頃神戸に来られ、ゴル

フと山歩きをこよなく愛された方だったそうです。事実、ドントロックと言う山荘を立てられ、神戸カモシカ倶楽部という登山愛好者の会を設立、機関紙「INAKA」を発行され精力的に活動されていたようです。又、ドントさんは、明治43年に日本人による初めての登山団体として設立された神戸草鞋会(後に神戸徒歩会に改名)の賛助会員としても活動され、六甲摩耶山地を精力的に歩いておられ、その一つが今に名を留める南・北ドントリッジなのだそうです。



北ドントリッジから植物園へ
(ネット画像より)

市ヶ原から高雄山に登り、一部を除く分水嶺越までの尾根筋が南ドントリッジ。そして、分水嶺越から森林植物園に至る隠れた尾根筋?が、これから行く北ドントリッジでした。このルートは地図上では破線で示されているものの、入口は解りにくく、初めて歩かれる方は多分うろうろされることでしょうね! 尾根筋はアップダウンの繰り返しで道標など無く、最後の方は「リッジ=痩せた山稜」と呼ぶにふさわしい様な尾根を通過し、やっと、森林植物園内に入ることが出来ました!



森林植物園/長谷池にて



筆者/後列中央

入園者はそう多くは無かったものの、本館やレストラン付近は結構たくさんおられたので、見学もそこそこに、食べたかったソフトクリームを賞味後、谷上までの山田道を急ぎました・・・。

皆様 お疲れさまでした!!

天候 晴れ

参加者 10名